



# JTBF 観光経済レポート vol.13



## 2006 年 7-9 月期の動向と今後の見通し

2006 年 12 月

財団法人 日本交通公社

☆観光文化事業部

東京都千代田区丸の内 1-8-2

Tel.03-5208-4704 Fax.03-5208-4707

<http://www.jtb.or.jp>



## 財団法人 日本交通公社

当財団は、1912 年ジャパンツーリストビューローとして誕生、戦後現在の名称へと改称したのち、観光レクリエーションおよび旅行に関する様々な調査研究を行う公益法人として現在に至っています。

観光文化振興事業として、「旅の図書館」（東京駅八重洲口）の運営や、セミナー・シンポジウムの開催、独自調査による旅行者や観光地の動向データの発表、図書の出版、地域や大学との共同研究など、これまでも様々な場面で観光文化の振興に携わってきました。また、我が国では数少ない旅行・観光レクリエーション・リゾート分野における調査研究機関としての専門性は高く評価されており、国・地方公共団体から多くの調査研究を受託しています。

06 年度からは公益事業の拡充をめざした当財団中期計画「JTBF フォワードプラン」をスタートさせ、「観光文化事業部」を新設しました。コンテンツとしての旅行の魅力再生と持続的な観光地・観光産業の発展に寄与していきます。

### 21世紀の旅行・観光をトータルにプロデュース



観光文化事業部

TEL：03-5208-4704

研究調査部

TEL：03-5208-4703

E-mail：zaidan\_info@jtb.or.jp

ホームページ：http://www.jtb.or.jp

## ■ 観光経済レポート

### — 2006 年 7-9 月期の総括と今後の見通し

#### 7-9 月期の総括 ～ 「7 月豪雨」も 8・9 月は持ち直す

- ・ 2006 年 4-6 月期における国内宿泊旅行者数は前年同期比で 0.8%増と、3 期ぶりのプラスになった。（「JTBF 旅行量調査」）。
- ・ 「平成 18 年 7 月豪雨」の影響で 7 月の動きは低調だったが、お盆休暇は前年に比べ活発な動きをみせた。また、平日よりも土曜発の旅行が増加した。
- ・ 関東および近畿発の東海方面への旅行が前年の愛知万博の反動で減少したが、反面東海発の旅行が近場への旅行を中心に増加した。
- ・ 「出張」旅行が前年同期に比べ増加し、「個人観光旅行」等はやや減少した。
- ・ 旅行単価は 37,300 円/人回と、近距離旅行が増えたことなどから、前年同期比で 1,100 円 (2.9%) 減少した。
- ・ 自治体調査である「JTBF 観光地動向調査」では、2006 年 7-9 月期の観光客数は前年同期比 1.0%増となった。方面別では、「北海道」「東北」「東海」「近畿」「四国」で 3%以上の増加となった。
- ・ しかし、日帰り客の 7.7%増に対し、宿泊客は 3.5%減と低調である。日帰り客増加理由としては、道の駅などマイカー向け便利施設や、各種イベントの好調が目立つ。
- ・ 観光地タイプ別では、天候不順の影響を受けたビーチリゾートが 6.8%減、また自然観光地も 2.6%減となった。
- ・ 「JTBF 宿泊客動向調査」における 7-9 月期の「旅館」の客室稼働率は 62.6%と 0.1%の微増となった。1泊2食単価は 13,632 円で 0.4%増加した。「近畿」「中国」が好調であった。
- ・ 「ホテル」の客室稼働率は 76.6%（同 0.4%増）と 7 連続で増加している。ただし伸び率は 4 期連続で低下した。ルームチャージは 9,085 円 (0.6%増) と調査を開始した 04 年 1-3 月期以来初めてのプラスとなった。ビジネス需要の増加も一因と思われる。

#### 今後の見通し ～ 前年並みとの見方が大勢

- ・ 06 年 10-12 月期の観光客数見通し D I は 0.3%ポイントで前年並みだが、1-3 月期は△4.3%ポイントと、ほぼ前年並みと捉える向きが多い。上がる要因としてこれといった記述が無い状況にある。方面別では「近畿」で増加が見込まれている。
- ・ 「旅館」の宿泊客数見通し D I は 10-12 月期が 0.5%ポイントと若干のプラスだが、1-3 月期は△4.1%ポイントとやや抑えられた見通しになった。「東北」「中国」「四国」で厳しい見通しを立てている。
- ・ 「ホテル」についても 10-12 月期は 17.6%ポイントと高い数値となったが、1-3 月期は△7.2%ポイントとマイナスを見通している。「東北」「中国」で旅館同様にマイナス幅が大きい。



## 2006 年 7-9 月期 国内宿泊旅行者の動き

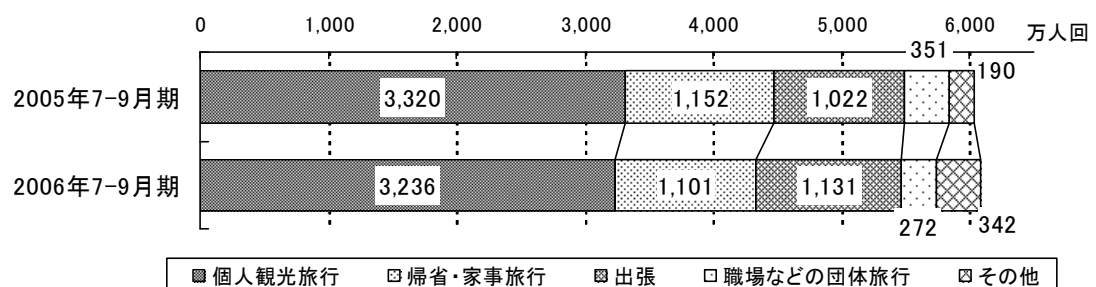
「平成 18 年 7 月豪雨」で海の日連休は低調、お盆休暇は例年に比べ活発な動き

### ○旅行者数（2006 年 7-9 月期）

2006 年 7-9 月期における延べ国内宿泊旅行者数\*1は 6,082 万人回と推計され、前年同期に比べ 0.8%増加した。「平成 18 年 7 月豪雨」の影響で「海の日」を含む 3 連休の動きは低調だったが、お盆休暇は前年に比べ活発な動きをみせた。

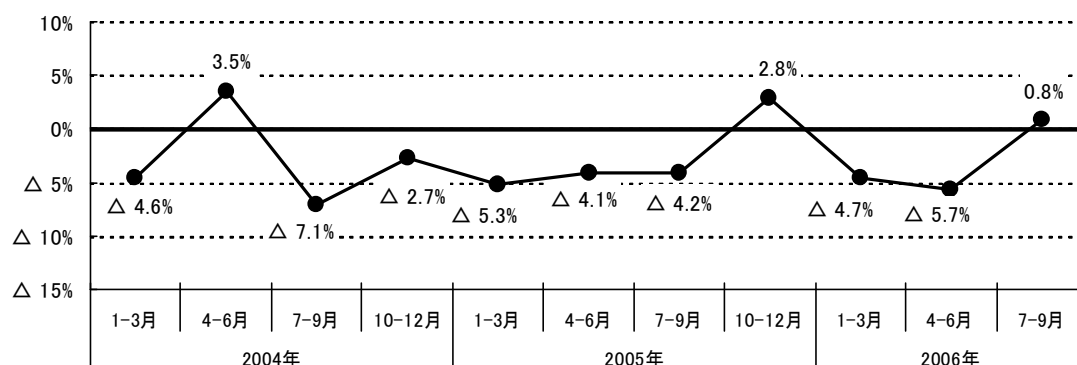
旅行者の居住地別にみると、関東および近畿発の東海方面への旅行が前年の愛知万博の反動で減少したが、反面東海発の旅行が近場への旅行を中心に増加した。

旅行種類別にみると、今期は「出張」旅行が前年同期に比べ増加、「個人観光旅行\*2」「帰省・家事旅行\*3」「職場などの団体旅行\*4」はやや減少した。



注) 小数点以下を四捨五入しているため、グラフ中の数値の合計が合わない場合がある

図表 1-1 旅行種類別にみる国内宿泊旅行者数



図表 1-2 国内宿泊旅行者数（前年同期比）の推移

\*1 15～79 歳が対象。14 歳以下および 80 歳以上の旅行者数は含まれていない

\*2 プライベートで（個人的に）観光や休養、レジャーを目的とする旅行

\*3 帰省や冠婚葬祭、法事、介護、見舞といった家事を目的とする泊りがけの外出

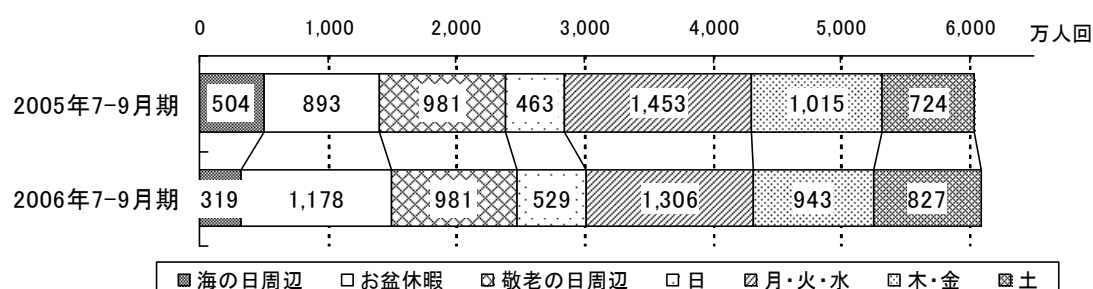
\*4 職場の慰安旅行や招待・報奨旅行、町内会や農協、宗教団体等が主催する国内旅行、学校の国内修学旅行など

## ○旅行の出発日別にみる旅行者数（2006 年 7-9 月期）

今期 7 月中旬は九州から関東地方の広い範囲で大雨に見舞われ、「海の日<sup>\*5</sup>」周辺の旅行の動きが低調であった。一方で、8 月の「お盆休暇<sup>\*6</sup>」期間中は個人観光旅行や帰省の動きが前年に比べ活発だった。

「敬老の日・秋分の日<sup>\*7</sup>」は秋分の日が土曜日で振替休日が発生しなかったため、この時期の団体旅行や個人観光旅行が前年同期に比べ減少した。ただ、同時期に出張旅行が増加したことから、宿泊旅行全体としては前年並みの水準を維持した。

これらの連休を除いた曜日別では、前期に引き続き週末発の旅行が増加、平日発の旅行が減少する傾向がみられた。



図表 1-3 旅行の出発日別にみる国内宿泊旅行者数

## ○旅行をした人の割合（旅行実施率）と平均旅行回数（2006 年 7-9 月期）

2006 年 7-9 月期の国内宿泊旅行の実施率は 33.4% で前年同期に比べ微減、一方旅行実施者の平均旅行回数は前年同期に比べ微増となった。旅行種類別にみると、「出張」の実施者平均旅行回数が他の種類の旅行に比べて増えていることがわかる。

図表 1-4 旅行実施率と実施者の平均旅行回数

| ◆旅行実施率     | 国内宿泊旅行 |        |         |        |           |      |
|------------|--------|--------|---------|--------|-----------|------|
|            |        | 個人観光旅行 | 帰省・家事旅行 | 出張     | 職場などの団体旅行 | その他  |
| 2005年7-9月期 | 33.7%  | 24.9%  | 8.3%    | 3.1%   | 3.1%      | 1.4% |
| 2006年7-9月期 | 33.4%  | 24.1%  | 7.7%    | 3.1%   | 2.4%      | 2.8% |
| 前年同期との差    | △ 0.3% | △ 0.8% | △ 0.7%  | △ 0.0% | △ 0.8%    | 1.4% |

| ◆平均旅行回数<br>(実施者平均) | 国内宿泊旅行 (単位:回/人) |        |         |      |           |        |
|--------------------|-----------------|--------|---------|------|-----------|--------|
|                    |                 | 個人観光旅行 | 帰省・家事旅行 | 出張   | 職場などの団体旅行 | その他    |
| 2005年7-9月期         | 1.72            | 1.28   | 1.33    | 3.17 | 1.08      | 1.32   |
| 2006年7-9月期         | 1.76            | 1.30   | 1.38    | 3.57 | 1.11      | 1.19   |
| 前年同期との差            | 0.03            | 0.01   | 0.05    | 0.39 | 0.03      | △ 0.13 |

\*5 2006 年 7 月 13 日（木）～19 日（水）の 7 日間（2005 年は 7 月 14 日（木）～20 日（水）の 7 日間）

\*6 2006 年 8 月 10 日（木）～16 日（水）の 7 日間（2005 年は 8 月 11 日（木）～17 日（水）の 7 日間）

\*7 2006 年 9 月 14 日（木）～27 日（水）の 14 日間（2005 年は 9 月 15 日（木）～28 日（水）の 14 日間）

## 泊数は微増、近距離の帰省・家事旅行が増えて旅行単価は微減

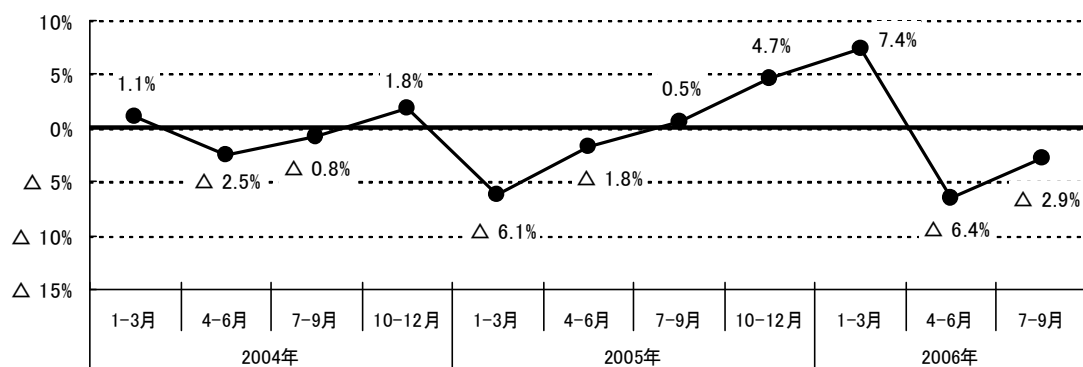
### ○旅行泊数（2006 年 7-9 月期）

2006 年 7-9 月期の平均泊数は 2.11 泊／回であり、前年同期の 2.09 泊／回に比べて 0.02 泊増とほぼ横ばいであった。

### ○旅行単価（2006 年 7-9 月期）

2006 年 7-9 月期の平均旅行単価は 37,300 円／人回であり、前年同期に比べて 1,100 円（2.9%）減少した。帰省・家事旅行を中心に近距離旅行が増えたことが、旅行単価減少の主な要因である。

旅行種類別にみると、個人観光旅行では前年同期と同水準の旅行単価を維持しており、また出張旅行では前年同期に比べて旅行単価が増加した。



図表 1-5 国内宿泊旅行単価（前年同期比）の推移

（川口 明子）

#### 【本レポートで利用したデータソース】JTBF 旅行量調査

##### <調査概要（2006 年 7-9 月期）>

- ・調査期間：2006 年 10 月 5 日～10 月 16 日
- ・調査対象：全国 15～79 歳の個人（層化多段無作為抽出法による抽出）
- ・調査方法：訪問留置調査
- ・調査数：2,400 人
- ・有効回答数：1,132 人（回収率 47.2%）
- ・調査項目：旅行回数、旅行内容（種類・泊数・費用など）



## 旅行が楽しかった時代

観光文化事業部で進めている自主研究「旅行ムーブメント史の研究」の一環として、全国の消費者を対象に「旅行が楽しかった時代」についてアンケートを行い、1,132人から回答を得た。なおこの自主研究では、戦後の国内旅行市場におけるムーブメントを体系的に整理し、その背後にある日常環境の変化や旅行への欲求の変質等を考察していく予定である。今回紹介する調査結果は予備調査の1つで、回答者属性を除けば主な設問数も2つだけという簡易なものである。

### 1) 旅行が一番楽しかった時代は？

質問1「あなたがこれまでで一番旅行を楽しく感じた年代は次のうちの年代でしたか。

今がそうであれば、現在の年代に○を付けてください。(○は1つだけ)

全体でみると「20代前半」の頃が一番楽しかったとの回答が高い。但し、若年層の回答は若年の時期に限定される為、単純集計では当然ながら若年に偏る分布形となる点に留意いただきたい。

年代別にみると、20～40代では「20代前半」、50～60代では「50代前半」、70代において「60代前半」でピークを形成されている。概ね、自由時間があり、旅行回数が比較的多い時期が「楽しい時期」に当たっていると見ることもできる。なお、「旅行は好きではない」という回答は20代で10.2%と最も高く、近年の若年層の旅行離れを印象付ける。筆者は、入社したばかりの90年頃に宿泊旅行の動向調査を担当していたが、当時の20代は全体平均よりもかなり高い旅行回数であった。現在の20代は各種資料をみても全体平均を下回っている。

「50代」を迎えるまでは「20代前半」の旅行が最も楽しかった時期ということであり、その50代についても子育てを終えた時期の女性層の回答が圧倒的で、男性については退職後の「60代前半」にようやく楽しみのピークを更新することになる。しかし、「60代後半」には既に「一番楽しかった」比率が急速に減少しており、これは加齢による影響が大きいと考えられる。多くの男性においては、楽しい旅ができる時期は二度あり、就職前と退職後の短い期間と考えられる。

#### 1) これまでで一番旅行を楽しく感じた年代 (年代別、性別)

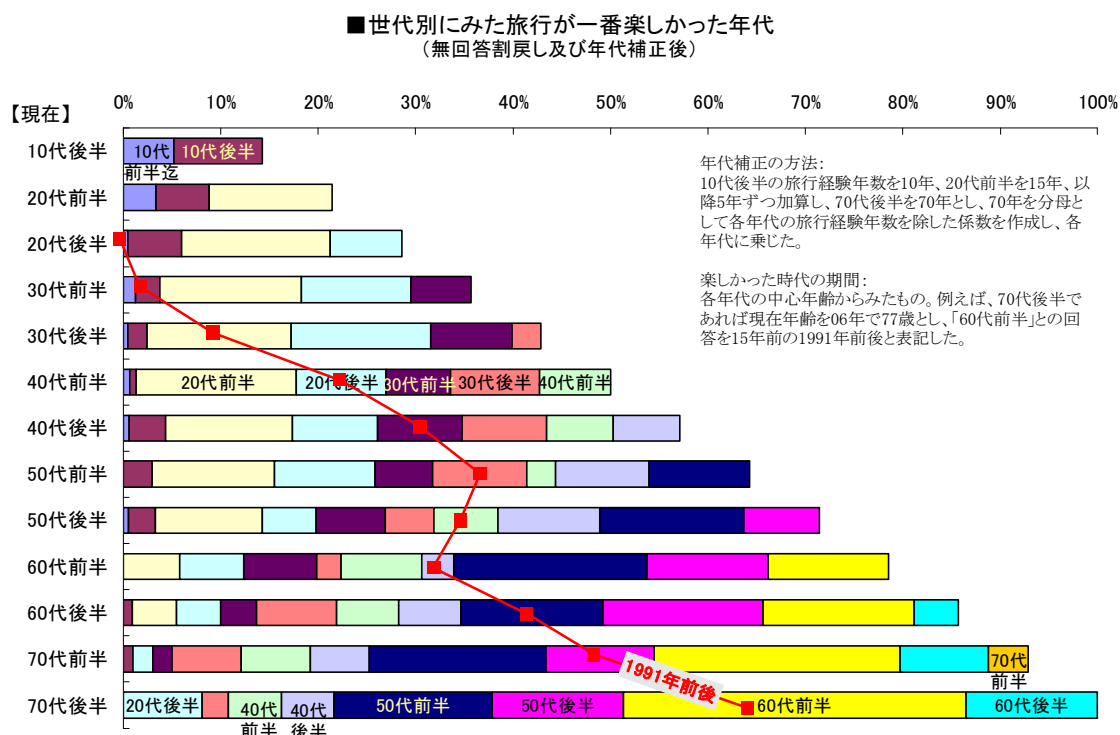
|        | 標本数   | 10代<br>前半 | 10代<br>後半 | 20代<br>前半 | 20代<br>後半 | 30代<br>前半 | 30代<br>後半 | 40代<br>前半 | 40代<br>後半 | 50代<br>前半 | 50代<br>後半 | 60代<br>前半 | 60代<br>後半 | 70代<br>前半 | 70代<br>後半 | 旅行は<br>嫌い | 無回答 | 計     |
|--------|-------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----|-------|
| 全 体    | 1,132 | 2.7       | 7.0       | 19.7      | 12.5      | 8.1       | 6.7       | 5.7       | 5.5       | 9.3       | 5.6       | 6.2       | 1.7       | 0.4       | 0.0       | 6.4       | 2.7 | 100.0 |
| 15～19才 | 47    | 31.9      | 55.3      | -         | -         | -         | -         | -         | -         | -         | -         | -         | -         | -         | -         | 6.4       | 6.4 | 100.0 |
| 20～29才 | 128   | 7.0       | 19.5      | 49.2      | 12.5      | -         | -         | -         | -         | -         | -         | -         | -         | -         | -         | 10.2      | 1.6 | 100.0 |
| 30～39才 | 186   | 2.2       | 5.4       | 34.9      | 30.1      | 17.2      | 3.2       | -         | -         | -         | -         | -         | -         | -         | -         | 4.3       | 2.7 | 100.0 |
| 40～49才 | 180   | 1.1       | 3.9       | 25.6      | 15.6      | 13.3      | 15.6      | 12.2      | 6.1       | -         | -         | -         | -         | -         | -         | 6.1       | 0.6 | 100.0 |
| 50～59才 | 230   | 0.4       | 3.9       | 16.1      | 10.4      | 9.1       | 9.6       | 7.0       | 13.9      | 17.8      | 6.1       | -         | -         | -         | -         | 4.8       | 0.9 | 100.0 |
| 60～69才 | 210   | -         | 0.5       | 5.7       | 6.2       | 6.2       | 5.7       | 8.1       | 5.2       | 19.0      | 15.7      | 15.2      | 2.4       | -         | -         | 5.2       | 4.8 | 100.0 |
| 70～79才 | 151   | -         | 0.7       | -         | 3.3       | 1.3       | 5.3       | 6.0       | 5.3       | 15.9      | 10.6      | 25.2      | 9.3       | 2.6       | 0.0       | 9.9       | 4.6 | 100.0 |
| 男 性    | 530   | 3.6       | 8.7       | 17.2      | 12.3      | 8.7       | 7.5       | 5.8       | 5.1       | 7.0       | 4.3       | 6.6       | 2.1       | 0.2       | 0.0       | 7.4       | 3.6 | 100.0 |
| 女 性    | 602   | 2.0       | 5.5       | 21.9      | 12.8      | 7.6       | 6.0       | 5.5       | 5.8       | 11.3      | 6.6       | 5.8       | 1.3       | 0.5       | 0.0       | 5.5       | 1.8 | 100.0 |

もう少し細かく、世代別の差異についてみておきたい。全ての世代が同じような時代の流れを生きているわけではないという視点である。楽しかった各年代の構成比は、人生経験の短い若年層では大きくなってしまったため、70代後半の人を基準にした補正を行って、各世代における楽しかった「時代」をグラフ化した。参考までに、旅行量のピークだった時代と考えられる1991年前後が、各世代のどの時代に対応しているかを曲線で示す。結果、幾つか特徴的な傾向が見受けられるので列挙する。

- ・ 70代後半の人で「60代前半(1991年前後)」が非常に高い。この世代は年金や退職金等の面で幸せな定年退職を迎えた「逃げ切り世代」とも言える。これに比べると、70代前半の「60代前半(1996年前後)」、60代後半の「60代前半(2001年前後)」の比率は次第に低下してきている。
- ・ 50代前半から40代前半にかけて、その前後の世代に比べて「30代後半」(1991前後～2001前後)との回答が他の世代より高めである。この時代の同行者としては「子供連れ家族旅行」との回答が多い。90年代にはミニバンのなどファミリー向けの乗用車の市場シェアが高まった時代に当たっている。(「旅行者動向2006」では子供連れ家族旅行の概ね約4分の3は自家用車利用である。)



- ・ 50 代後半より若い世代をみると、「20 代前半」の比率は全般に高いが、特に 40 代前半（1986 年前後）で高い比率になっている。この時代は、スキーブームやテーマパークブームといった新しい旅行市場のカテゴリーが形成された時期に当たっている。
- ・ 60 代前半では「20 代前半（1966 年前後）」との回答が 50 代後半に比べて急減している。旅行市場が大衆化し大きくなった時代は 70 年の大阪万博以降であり、60 代以上の世代は 20 代の時期に旅行経験が少なかった層となっている。

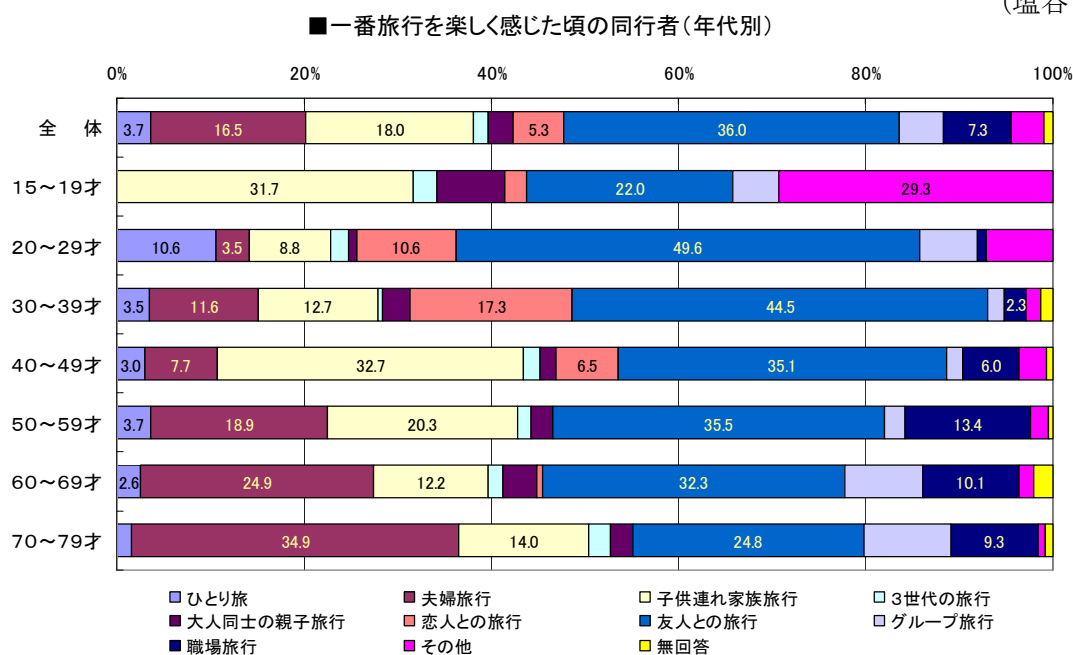


## 2) その頃の同行者は？

質問2「その頃は主に誰と旅行をされていましたか。(〇は1つだけ)」

全体では、「友人との旅行」が 36.0%と高く、女性で 41.8%、年代では 20～30 代で高くなっている。次いで、「子供連れ家族旅行」が 18.0%で 10 代と 40～50 代で高い。「夫婦旅行」は 70 代で高い。この他、「職場旅行」は 50～60 代で回答が 1 割を超え、「ひとり旅」は 20 代で 1 割を超えている。「3 世代旅行」や「大人同士の親子旅行」はあまり高い比率にはならなかった。

(塩谷 英生)





## 2006 年 7-9 月期 観光地動向

### 全国的にイベントが好調で日帰り客が増加、宿泊客は減少傾向が続く

#### ○観光客数の動向(2006 年7-9月期)

2006 年 11 月に実施した「JTBF 観光地動向調査※」によると、2006 年 7-9 月期の観光客数は前年同期比 1.0%増となった。7 月は大雨の影響で全国的に減少傾向となったが、後半に入って回復、期間全体でみると増加となった。

地域別では、北海道は全体的に好天に恵まれ前年比増となった。東北では 7 月の長雨の影響から前年比減となったが、8・9 月はイベントの好調により増加に転じた。甲信越でも 7 月の大雨による減少分を後半で取り戻し、前年増となった。関東は 3 カ月を通じて悪天候が影響、特に海水浴客の減少が目立ち 3.7%減となった。

東海は各月でいずれも前年を上回った。昨年の万博出展による PR 効果がみられた「尾張津島天王祭」（愛知県津島市・毎年 7 月末開催）をはじめとして、イベントや観光施設の好調を挙げる市町村が多く、愛・地球博の影響によりイベントや観光施設の企画展の実施の動きが活性化しているものとみられる。

近畿は観光施設オープンや既存の施設の運営見直しによる効果がみられたことから増加、四国についても観光施設や宿泊施設のオープンで増加となった。

北陸については、8 月は前年比増となったが 7・9 月の悪天候で 9.1%と大幅減、中国も観光施設閉鎖、イベント中止、台風の影響から 7.2%減となった。九州は天候不良による減少の反面、韓国からの来訪者増やイベント効果による増加がみられ、前年並みとなった。沖縄は台風の影響や過去最高の来訪客数を記録した昨年の反動減から前年比減となった。

観光地タイプ別では、天候不順の影響を受けたビーチリゾートが 6.8%減、また自然観光地も 2.6%減となった。歴史観光地では多くが前年並みだったが、一部の観光地でイベントの新規開催や PR 方法の工夫を行い、5.4%の増加となった。農山漁村観光地でも「はな旅北海道キャンペーン」（北海道美瑛町・6 月 1 日～8 月 31 日開催）による入込増など、イベントなどの開催による増加が目立ち 1.8%増となった。

日帰り・宿泊別については、日帰り客は 7.7%と増加したが、宿泊客は 3.5%減少した。日帰り客増の要因としては、道の駅やスーパー銭湯といった立ち寄り型施設、通過の際の休憩ポイントとなる観光施設の好調がまず挙げられる。また県内・県外問わず多くの来訪

者で賑わった「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ 2006」（新潟県十日町市など・7月23日～9月10日開催）をはじめとして、イベントが好調だったことも増加につながったとみられる。

宿泊客については減少が続いている。主な理由としては宿泊施設や周辺観光施設の閉鎖、また観光客側の旅行ニーズや周遊ルートの変化が挙げられている。増加と回答した地域でも新規オープンのほか、調査対象施設が増えたことを理由に挙げた地域が多く、それ以外の増加要因がほとんどみられなかったことから今後も減少傾向が続くことが予想される。

表 1 観光客数の推移

|             |           | 2005 年       |              | 2006 年       |              |              |                |
|-------------|-----------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|----------------|
|             |           | 7-9 月期       | 10-12 月期     | 1-3 月期       | 4-6 月期       | 7-9 月期       |                |
|             |           | 前年同期比<br>(%) | 前年同期比<br>(%) | 前年同期比<br>(%) | 前年同期比<br>(%) | 前年同期比<br>(%) | 有効サンプル数<br>(件) |
| 全体平均        |           | 0.3          | 3.1          | 2.4          | △ 0.8        | 1.0          | 293            |
| 地域別         | 北海道       | △ 0.3        | 3.7          | 2.2          | △ 5.6        | 3.2          | 73             |
|             | 東北        | △ 1.2        | 2.6          | 0.5          | 2.3          | 3.9          | 49             |
|             | 関東        | 1.3          | 4.9          | 0.7          | △ 4.3        | △ 3.7        | 42             |
|             | 甲信越       | △ 5.9        | 10.5         | 2.3          | △ 4.1        | 0.4          | 16             |
|             | 東海        | 1.6          | 1.2          | 0.3          | △ 0.1        | 3.1          | 29             |
|             | 北陸        | 2.3          | 3.8          | △ 6.1        | △ 3.9        | △ 9.1        | 11             |
|             | 近畿        | △ 1.7        | △ 3.4        | 7.9          | 5.8          | 7.3          | 17             |
|             | 中国        | 4.0          | 3.4          | 1.6          | 0.8          | △ 7.2        | 16             |
|             | 四国        | △ 2.6        | 3.2          | △ 2.8        | △ 6.8        | 7.0          | 8              |
|             | 九州        | 2.7          | 1.5          | 13.2         | 3.0          | 0.0          | 26             |
|             | 沖縄        | 13.7         | 6.5          | △ 4.1        | △ 5.3        | △ 5.3        | 6              |
| 観光地タイプ別     | 温泉観光地     | △ 2.5        | 2.9          | △ 1.7        | 1.4          | △ 0.3        | 23             |
|             | 自然観光地     | △ 0.7        | 4.8          | 2.9          | △ 1.8        | △ 2.6        | 105            |
|             | リゾート(ビーチ) | △ 11.8       | △ 0.8        | △ 1.2        | -            | △ 6.8        | 6              |
|             | 歴史観光地     | 0.3          | 1.1          | △ 0.3        | 6.6          | 5.4          | 31             |
|             | 都市観光地     | -            | △ 8.3        | 21.2         | 2.1          | △ 2.1        | 6              |
|             | 農山漁村観光地   | △ 1.5        | 0.4          | △ 1.4        | △ 4.5        | 1.8          | 28             |
|             | 観光地ではない   | 1.9          | 3.7          | 5.8          | △ 2.9        | 1.3          | 52             |
|             | その他       | 6.0          | 5.5          | 6.2          | 0.3          | 10.6         | 19             |
| 宿泊別<br>日帰り： | 日帰り       | -            | -            | 3.5          | △ 1.2        | 7.7          | 189            |
|             | 宿泊        | -            | -            | △ 3.2        | △ 3.4        | △ 3.5        | 183            |

(注) リゾート(山岳)は有効サンプル数が5以下のため、観光地タイプ別では掲載していない

## おおむね前年並みの見通し、前年の豪雪被害地域では回復を期待

### ○今後の見通し(2006 年 10-12 月期、2007 年 1-3 月期)

観光客数の見通しについて、2006 年 10-12 月期は DI0.3%ポイント増とほぼ前年並み、2007 年 1-3 月期については 4.3%ポイント減となった。多くの市区町村が前年並みとの見方を示しているが、天候次第によっては減少するとの回答もみられた。気象庁発表の 12 月-2 月の 3 か月予報によると今冬は暖冬・少雪が予想されることから、昨年の豪雪被害を受けた地域で観光客の回復が見込まれる一方でスキー場などへの影響が懸念される。

地域別にみると、北海道は前回調査に続き 10-12 月期、1-3 月期とも DI は大幅減となった。近年続いている減少傾向の歯止めとなる要因が見当たらず、さらにガソリンの高騰や景気の低迷が拍車をかける結果となっている。東北では昨年の豪雪による減少からの回復を見込む回答もみられたが、全体としては天候により大きく左右されるため見通しが立たないという慎重な見方が多かった。

関東については、1-3 月期は 12.5%ポイント減となった。これは増加と見込む地域がほとんどなく、前年比減と回答した地域数が前年比増の回答数をやや上回ったためであり、大方の市区町村は前年並みとの見方を示している。甲信越でも前年並みとみる地域が多いが、スキーなどウィンタースポーツの低迷がまだ続くとの理由から減少とみる地域があることから DI は減少した。

東海についてもほとんどの地域が前年並みとみており、1-3 月期の DI は 0.0%ポイントとなった。北陸についても同様の傾向だが、昨年の豪雪による減少分の回復が期待できることから 1-3 月期は 9.1%ポイント増となった。

近畿については、イベントやキャンペーン効果により増加が見込まれる。10 月 21 日の琵琶湖環状線開業による観光客増が期待できることなどから DI 値はプラスとなっている(滋賀県西浅井町など)。中国についてもおおむね前年並みとの見方だが、一部観光施設の閉鎖による減少などから 1-3 月期の DI 値はマイナスとなった。

九州については、前年まで実施されていたイベントの中止や観光施設の閉鎖などが重なり、1-3 月期は 12.5%ポイント減となった。沖縄については、プロ野球キャンプや修学旅行による増加が見込まれる一方、クルーズ船運休による海路入域客の減少が懸念される。

(相澤 美穂子)

表 2 観光客数の見通し

|      |     | 2006 年 10-12 月 |                | 2007 年 1-3 月  |                |
|------|-----|----------------|----------------|---------------|----------------|
|      |     | DI<br>(%ポイント)  | 有効サンプル数<br>(件) | DI<br>(%ポイント) | 有効サンプル数<br>(件) |
| 全体平均 |     | 0.3            | 341            | △ 4.2         | 336            |
| 地域別  | 北海道 | △ 14.3         | 70             | △ 12.9        | 70             |
|      | 東北  | △ 2.0          | 51             | 2.0           | 51             |
|      | 関東  | △ 3.5          | 57             | △ 12.5        | 56             |
|      | 甲信越 | △ 12.5         | 16             | △ 6.7         | 15             |
|      | 東海  | 12.5           | 32             | 0.0           | 31             |
|      | 北陸  | 0.0            | 12             | 9.1           | 11             |
|      | 近畿  | 19.2           | 26             | 19.2          | 26             |
|      | 中国  | 8.3            | 24             | △ 4.2         | 24             |
|      | 四国  | 23.1           | 13             | 0.0           | 13             |
|      | 九州  | 6.1            | 33             | △ 12.5        | 32             |
|      | 沖縄  | 0.0            | 7              | 14.3          | 7              |

## 【本レポートで利用したデータソース】JTBF観光地動向調査

- ・調査期間：2006 年 10 月 27 日～11 月 24 日
- ・調査対象：全国の自治体観光主管課、観光協会
- ・調査方法：郵送または E-mail にてアンケートを送付、FAX または E-mail で回収
- ・調査数：1,820 件
- ・回答数：400 件（回収率 22.0%）

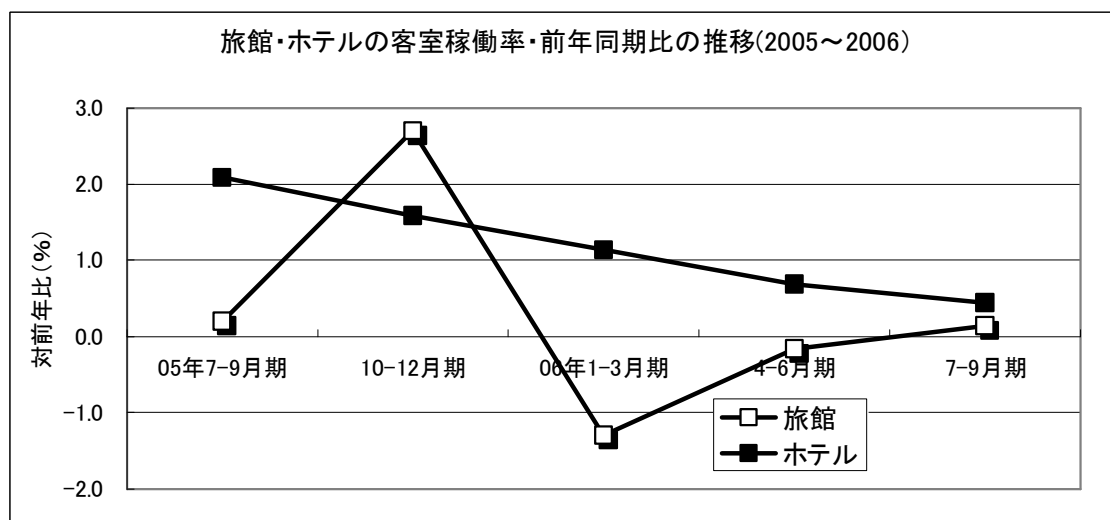


## 2006 年 7-9 月期 宿泊動向

### 旅館の客室稼働率、平均宿泊単価とも、ほぼ前年並みに

06 年 11 月に行った「JTBF 宿泊客動向調査」によると、06 年 7-9 月期の旅館の平均客室稼働率は、前年同期を若干上回る 62.6%（前年同期比 0.1%増）となり、微増ながらも 3 四半期ぶりの上昇となった。

地域別に見ると、近畿地域や中国地域、四国地域といった西日本において、客室稼働率が前年同期を上回る傾向にある。近畿地域ではインターハイや国体が開催され、中国地域では学会開催などの団体需要が好調であったことが要因として考えられる。一方で、昨年愛知万博が開催されていた東海地域では前年同期を下回っているが、その下落幅は前期に比べて縮小している。また、8 月と 9 月に台風が直撃した九州地域のほか、関東地域でも群馬県や栃木県にある旅館を中心に前年同期を下回った。



旅館の一泊二食単価は 13,632 円でこちらも前年同期比 0.4%増の微増となった。地域別、施設規模別にみても大きな増減はみられず、全体的に微増傾向にあることが分かる。施設のコメントでは、客室のリニューアル等設備投資による単価の上昇、単価の高い個人客の増加が目立った。



2006年7-9月の旅館ホテルの客室稼働率と単価

|       |      | 旅館           |                 | ホテル          |                |
|-------|------|--------------|-----------------|--------------|----------------|
|       |      | 客室稼働率<br>(%) | 1泊2食平均単価<br>(円) | 客室稼働率<br>(%) | ルームチャージ<br>(円) |
|       |      | 下段は対前年同期比(%) |                 | 下段は対前年同期比(%) |                |
| 全体平均  |      | 62.6         | 13,632          | 76.6         | 9,085          |
|       |      | 0.1          | 0.4             | 0.4          | 0.6            |
| 地域別   | 北海道  | 74.7         | 10,223          | 86.1         | 8,226          |
|       |      | 1.0          | 0.2             | 0.7          | 3.6            |
|       | 東北   | 63.1         | 11,592          | 73.2         | 7,589          |
|       |      | △ 1.0        | 0.7             | 2.2          | △ 1.4          |
|       | 関東   | 65.2         | 13,995          | 80.9         | 11,157         |
|       |      | △ 1.6        | 0.1             | 0.4          | 1.8            |
|       | 甲信越  | 60.6         | 11,777          | 71.8         | 14,690         |
|       |      | 1.0          | 0.8             | 1.4          | 1.5            |
|       | 北陸   | 65.9         | 16,651          | 72.9         | 7,338          |
|       |      | 0.3          | 1.7             | 1.5          | 0.9            |
|       | 東海   | 61.5         | 16,703          | 75.3         | 7,456          |
|       |      | △ 2.2        | 0.9             | △ 8.2        | △ 8.6          |
|       | 近畿   | 59.9         | 14,402          | 80.8         | 9,153          |
|       |      | 2.2          | 0.2             | 2.2          | 2.0            |
|       | 中国   | 56.1         | 14,521          | 62.0         | 6,472          |
|       |      | 2.4          | 0.7             | 1.3          | △ 2.0          |
| 施設規模別 | 四国   | 64.6         | 16,525          | 67.9         | 6,494          |
|       |      | 3.1          | △ 4.0           | 0.8          | 2.9            |
|       | 九州   | 54.5         | 13,308          | 68.9         | 6,877          |
|       |      | △ 1.6        | △ 0.1           | △ 2.9        | 0.6            |
|       | 沖縄   | —            | —               | 77.2         | 13,539         |
|       |      | —            | —               | △ 4.3        | 5.6            |
|       | 大規模  | 67.8         | 11,065          | 80.3         | 11,036         |
|       |      | △ 0.5        | 0.9             | △ 0.0        | 2.1            |
| 施設規模別 | 中大規模 | 68.2         | 13,052          | —            | —              |
|       |      | 0.9          | 0.1             | —            | —              |
|       | 中規模  | 62.0         | 13,206          | 77.1         | 7,654          |
|       |      | 0.3          | 0.9             | 0.9          | △ 0.2          |
| 施設規模別 | 小規模  | 54.5         | 15,811          | 71.4         | 8,851          |
|       |      | △ 1.3        | 0.2             | △ 0.6        | △ 0.3          |

\* 旅館施設規模：大規模…客室数150室以上、中大規模…70～149室、中規模…40～69室、小規模…39室以下

\* ホテル施設規模：大規模…客室数201室以上、中規模…101～200室、小規模…100室以下

※本調査では当期および前年同期の実績を尋ねており、「前年同期比増減率」は当期調査で得られたサンプルの回答をもとに算出している。

\* 斜字体はサンプル数が10軒に満たないもの。

ホテルの客室稼働率は引き続き上昇、単価（ルームチャージ）は同様の推計手法となって以来初めての増加に

ホテルの客室稼働率は76.6%（前年同期比0.4%増）で7期連続の増加となった。ただ、その増減率は逡巡傾向にある。また、単価（ルームチャージ）は9,085円（前年同期比0.6%増）と、04年1-3月期に今回調査と同様の推計方法となって以来、初めての増加に転じた。これまで客室稼働率が上昇してきた一方で単価は下落傾向がつづいていたが、今期は客室稼働率、単価とも増加となった。この要因として、客室稼働率と単価がともに上昇した施設の割合が増加傾向にある一方で、稼働率が上昇し単価が低下した施設の割合が減少した

ことがあげられる。施設のコメントからは、景気の回復などによりビジネス需要が好調であることがうかがえた。なお、東海地域では客室稼働率、単価とも減少しているが、これは前年開催された愛知万博の反動減が主な要因となっている。

## ペンション・民宿、公的宿泊施設は、客室稼働率は減少傾向が続き、単価は増加傾向続く

ペンション・民宿、公的宿泊施設では平均客室稼働率がそれぞれ 46.8% (対前年同期比 5.1%減)、63.0% (対前年同期比 0.8%減) と減少傾向がつづいている。一方、1泊2食平均単価はそれぞれ 8,203 円 (対前年同期比 0.6%増)、9,425 円 (対前年同期比 1.4%増) と増加傾向がつづいている。

## 旅館では厳しい見通しが次第に増加、ホテルでは秋期は明るいものの冬期は一転して厳しく一次期の見通し (06 年 10-12 月および 07 年 1-3 月)

旅館の秋期(10-12 月)の見通し D I 値は、宿泊者数、宿泊売上ともにほぼ 0%ポイントとなり、06 年 8 月調査時の秋期期見通しから大きな変化はみられなかった。一方、ホテルの秋期の見通し D I 値は、06 年 8 月調査時から見通しを上方修正した回答が多くみられた(宿泊者数 1.7%ポイント→17.6%ポイント、宿泊売上 5.5%ポイント→17.6%ポイント)。今期は客室稼働率と単価がともに上昇しており、来期も引き続き好調な業績が期待されている。

冬期 (07 年 1-3 月) の見通しについては、旅館・ホテルともに D I 値がマイナスに転じており、いずれも厳しい見通しとなった。特にホテルでは、冬期見通しが大きく悪化しており、新規ホテル開業を不安視するコメントが目立っている。

(安達寛朗)

### 【本レポートで利用したデータソース】JTBF 宿泊客動向調査

- ・調査期間：2006 年 10 月 26 日～11 月 17 日
- ・調査対象：全国の旅館、ホテル、国民宿舎等公的宿泊施設、ペンション、民宿
- ・調査方法：e-mail にて回答用サイトへ誘導し、回答者により直接入力
- ・調査数：2,111 軒 (今回調査から、調査対象を定期的に回答のある施設に限定して実施)
- ・有効回答数：627 軒 (回収率 29.7%)  
うち旅館 232 軒、ホテル 346 軒、その他 (公的宿泊施設、ペンション、民宿) 49 軒

## 旅館の今後の見通し

|      |      | DI※(%ポイント)  |        |           |        |
|------|------|-------------|--------|-----------|--------|
|      |      | 2006年10-12月 |        | 2007年1-3月 |        |
|      |      | 宿泊者数        | 宿泊売上   | 宿泊者数      | 宿泊売上   |
| 全体平均 |      | 0.5         | 0.0    | △ 4.1     | △ 3.6  |
| 地域別  | 北海道  | △ 25.0      | △ 15.0 | 5.0       | 0.0    |
|      | 東北   | △ 34.5      | △ 27.6 | △ 3.4     | 0.0    |
|      | 関東   | 3.8         | 3.8    | △ 7.7     | 0.0    |
|      | 甲信越  | 25.7        | 17.1   | 22.9      | 20.0   |
|      | 北陸   | 40.0        | 40.0   | 30.0      | 30.0   |
|      | 東海   | 8.8         | 2.9    | △ 14.7    | △ 23.5 |
|      | 近畿   | 0.0         | 7.1    | 3.7       | 7.4    |
|      | 中国   | △ 18.2      | △ 9.1  | △ 30.0    | △ 10.0 |
|      | 四国   | △ 28.6      | △ 14.3 | △ 14.3    | △ 14.3 |
|      | 九州   | 10.5        | 0.0    | △ 21.1    | △ 21.1 |
| *規模別 | 大規模  | △ 17.9      | △ 21.4 | 10.7      | 7.1    |
|      | 中大規模 | 2.9         | 8.6    | △ 11.6    | △ 8.7  |
|      | 中規模  | 10.5        | 5.3    | 3.6       | 0.0    |
|      | 小規模  | △ 4.7       | △ 3.1  | △ 9.4     | △ 3.1  |

\*施設規模:大規模…客室数150室以上、中大規模…70～149室、中規模…40～69室、小規模…39室以下

※ここでのDI値は、「かなり増」「やや増」とする回答の割合から「やや減」「かなり減」とする回答の割合の差をとったもの。

## ホテルの今後の見通し

|      |     | DI※(%ポイント)  |        |           |        |
|------|-----|-------------|--------|-----------|--------|
|      |     | 2006年10-12月 |        | 2007年1-3月 |        |
|      |     | 宿泊者数        | 宿泊売上   | 宿泊者数      | 宿泊売上   |
| 全体平均 |     | 17.6        | 17.6   | △ 7.2     | △ 5.3  |
| 地域別  | 北海道 | △ 17.2      | △ 20.7 | 6.9       | 3.4    |
|      | 東北  | △ 28.6      | △ 35.7 | △ 32.1    | △ 21.4 |
|      | 関東  | 36.3        | 35.4   | 16.5      | 16.7   |
|      | 甲信越 | △ 6.3       | △ 23.5 | △ 7.1     | △ 13.3 |
|      | 北陸  | 33.3        | 22.2   | △ 25.0    | △ 25.0 |
|      | 東海  | 32.1        | 39.3   | △ 14.3    | △ 7.1  |
|      | 近畿  | 55.9        | 57.6   | 3.4       | 6.9    |
|      | 中国  | △ 38.1      | △ 42.9 | △ 33.3    | △ 33.3 |
|      | 四国  | 16.7        | 16.7   | 8.3       | 0.0    |
|      | 九州  | 10.7        | 17.9   | △ 28.6    | △ 28.6 |
|      | 沖縄  | 0.0         | 30.8   | △ 15.4    | △ 15.4 |
| *別規模 | 大規模 | 27.4        | 36.8   | △ 4.5     | 5.3    |
|      | 中規模 | 11.1        | 5.1    | △ 7.8     | △ 11.2 |
|      | 小規模 | 14.0        | 9.8    | △ 10.0    | △ 11.2 |

\*施設規模:大規模…客室数201室以上、中規模…101～200室、小規模…100室以下

※ここでのDI値は、「かなり増」「やや増」とする回答の割合から「やや減」「かなり減」とする回答の割合の差をとったもの。

旅館の予約経路7-9月期

単位: %

|      | サンプル数 | 旅行会社    | 予約サイト | 直接予約   | 自社サイト | (ネット比率=予約サイト+自社サイト) | その他・不明 |
|------|-------|---------|-------|--------|-------|---------------------|--------|
|      |       | (販売の委託) |       | (直接販売) |       |                     |        |
| 全体平均 | 199   | 51.2    | 7.1   | 32.5   | 5.4   | (12.5)              | 3.8    |
| 北海道  | 21    | 65.5    | 7.8   | 23.7   | 2.4   | (10.2)              | 0.7    |
| 東北   | 30    | 43.6    | 4.8   | 42.3   | 6.2   | (11.0)              | 3.1    |
| 関東   | 25    | 40.1    | 10.0  | 35.9   | 7.9   | (17.8)              | 6.2    |
| 甲信越  | 31    | 52.2    | 4.9   | 33.0   | 6.4   | (11.3)              | 3.6    |
| 北陸   | 9     | 65.5    | 1.2   | 27.9   | 4.4   | (5.6)               | 0.9    |
| 東海   | 27    | 52.0    | 7.6   | 31.8   | 5.6   | (13.2)              | 3.0    |
| 近畿   | 26    | 50.9    | 8.9   | 27.1   | 6.5   | (15.3)              | 6.7    |
| 中国   | 8     | 53.4    | 7.5   | 34.4   | 3.2   | (10.7)              | 1.4    |
| 四国   | 2     | 41.8    | 9.8   | 34.3   | 12.7  | (22.5)              | 1.4    |
| 九州   | 20    | 52.8    | 8.6   | 32.0   | 1.8   | (10.4)              | 4.9    |
| 大規模  | 26    | 60.5    | 5.0   | 26.2   | 3.6   | (8.5)               | 4.7    |
| 中大規模 | 61    | 60.6    | 5.0   | 27.8   | 4.2   | (9.2)               | 2.5    |
| 中規模  | 53    | 55.4    | 7.4   | 28.2   | 4.1   | (11.5)              | 4.8    |
| 小規模  | 59    | 33.4    | 9.8   | 44.3   | 8.8   | (18.6)              | 3.7    |

ホテルの予約経路7-9月期

単位: %

|      | サンプル数 | 旅行会社    | 予約サイト | 直接予約   | 自社サイト | (ネット比率=予約サイト+自社サイト) | その他・不明 |
|------|-------|---------|-------|--------|-------|---------------------|--------|
|      |       | (販売の委託) |       | (直接販売) |       |                     |        |
| 全体平均 | 273   | 27.7    | 17.2  | 40.8   | 7.7   | (24.9)              | 6.6    |
| 北海道  | 27    | 57.7    | 13.5  | 21.0   | 6.1   | (19.5)              | 1.8    |
| 東北   | 25    | 28.4    | 15.6  | 46.5   | 6.4   | (22.0)              | 3.1    |
| 関東   | 68    | 20.5    | 21.0  | 38.7   | 8.1   | (29.1)              | 11.6   |
| 甲信越  | 15    | 23.9    | 9.0   | 55.6   | 7.9   | (16.8)              | 3.7    |
| 北陸   | 8     | 27.1    | 22.0  | 37.7   | 9.8   | (31.8)              | 3.4    |
| 東海   | 26    | 17.6    | 17.0  | 52.5   | 7.7   | (24.7)              | 5.2    |
| 近畿   | 52    | 28.7    | 19.4  | 35.9   | 7.6   | (27.0)              | 8.4    |
| 中国   | 17    | 17.9    | 15.6  | 50.9   | 12.4  | (28.0)              | 3.1    |
| 四国   | 11    | 24.8    | 14.8  | 47.8   | 7.4   | (22.2)              | 5.2    |
| 九州   | 24    | 33.9    | 13.3  | 41.6   | 5.3   | (18.7)              | 5.8    |
| 沖縄   | 14    | 86.4    | 2.8   | 6.1    | 2.3   | (5.1)               | 2.3    |
| 大規模  | 97    | 41.9    | 13.8  | 28.4   | 7.3   | (21.1)              | 8.6    |
| 中規模  | 102   | 31.4    | 18.1  | 40.2   | 6.4   | (24.5)              | 3.9    |
| 小規模  | 88    | 17.1    | 17.7  | 49.7   | 8.7   | (26.3)              | 6.9    |

\* 旅館施設規模：大規模…客室数150室以上、中大規模…70～149室、中規模…40～69室、小規模…39室以下

\* ホテル施設規模：大規模…客室数201室以上、中規模…101～200室、小規模…100室以下

\* 斜字体はサンプル数が10軒に満たないもの。

旅館の客室稼働率の推移

上段：稼働率(%)

下段：前年同期比増加率※(%)

|        |      | サンプル数 | 2005年         |               | 2006年         |               |               |
|--------|------|-------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
|        |      |       | 7-9月期         | 10-12月期       | 1-3月期         | 4-6月期         | 7-9月期         |
| 全体平均   |      | 229   | 61.9<br>0.2   | 59.3<br>2.7   | 52.3<br>△ 1.3 | 55.2<br>△ 0.2 | 62.6<br>0.1   |
| 地域別    | 北海道  | 21    | 73.9<br>△ 0.9 | 52.8<br>2.2   | 47.5<br>△ 5.3 | 53.5<br>△ 0.4 | 74.7<br>1.0   |
|        | 東北   | 30    | 61.2<br>△ 2.5 | 59.8<br>0.2   | 47.9<br>△ 6.1 | 55.4<br>△ 0.8 | 63.1<br>△ 1.0 |
|        | 関東   | 29    | 64.4<br>△ 0.1 | 63.7<br>4.0   | 57.8<br>3.4   | 61.5<br>3.1   | 65.2<br>△ 1.6 |
|        | 甲信越  | 35    | 58.2<br>△ 0.7 | 51.5<br>9.4   | 51.3<br>△ 2.9 | 46.8<br>2.3   | 60.6<br>1.0   |
|        | 北陸   | 11    | 57.5<br>△ 7.9 | 56.1<br>0.7   | 49.7<br>△ 4.3 | 53.1<br>2.9   | 65.9<br>0.3   |
|        | 東海   | 35    | 65.3<br>4.7   | 60.2<br>△ 1.5 | 55.6<br>0.6   | 53.6<br>△ 8.0 | 61.5<br>△ 2.2 |
|        | 近畿   | 29    | 57.7<br>1.4   | 68.3<br>5.9   | 52.8<br>0.4   | 59.1<br>△ 0.4 | 59.9<br>2.2   |
|        | 中国   | 11    | 52.6<br>1.0   | 58.3<br>△ 2.1 | 48.8<br>△ 0.6 | 55.7<br>2.2   | 56.1<br>2.4   |
|        | 四国   | 8     | 58.3<br>1.3   | 57.2<br>6.5   | 50.3<br>2.4   | 59.8<br>3.8   | 64.6<br>3.1   |
|        | 九州   | 20    | 60.4<br>2.8   | 61.3<br>0.4   | 55.6<br>△ 0.4 | 54.8<br>5.8   | 54.5<br>△ 1.6 |
| *施設規模別 | 大規模  | 29    | 69.6<br>0.3   | 63.6<br>4.9   | 54.2<br>0.5   | 56.6<br>△ 0.3 | 67.8<br>△ 0.5 |
|        | 中大規模 | 73    | 68.1<br>1.0   | 64.5<br>3.4   | 60.4<br>1.2   | 60.2<br>0.7   | 68.2<br>0.9   |
|        | 中規模  | 59    | 60.8<br>△ 0.6 | 58.4<br>3.7   | 51.7<br>△ 0.9 | 54.1<br>1.6   | 62.0<br>0.3   |
|        | 小規模  | 68    | 56.2<br>0.6   | 54.3<br>0.7   | 46.5<br>△ 4.3 | 50.8<br>△ 0.3 | 54.5<br>△ 1.3 |

\*施設規模：大規模…客室数150室以上、中大規模…70～149室、中規模…40～69室、小規模…39室以下

\*サンプル数は2006年7-9月期調査のもの。

※本調査では当期および前年同期の実績を尋ねており、「前年同期比増加率」は当期調査で得られたサンプルの回答をもとに算出している。

旅館の一泊二食単価の推移

上段: 単価(円)

下段: 前年同期比増減率※(%)

|         |      | サンプル数 | 2005年           |                 | 2006年           |                 |                 |
|---------|------|-------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
|         |      |       | 7-9月期           | 10-12月期         | 1-3月期           | 4-6月期           | 7-9月期           |
| 全体平均    |      | 217   | 13,778<br>△ 0.3 | 13,925<br>0.4   | 13,410<br>△ 1.3 | 12,942<br>0.8   | 13,632<br>0.4   |
| 地域別     | 北海道  | 21    | 11,128<br>△ 1.1 | 10,634<br>0.7   | 9,577<br>0.9    | 9,526<br>2.2    | 10,223<br>0.2   |
|         | 東北   | 29    | 11,799<br>0.2   | 12,562<br>0.4   | 12,497<br>△ 1.0 | 11,880<br>3.5   | 11,592<br>0.7   |
|         | 関東   | 27    | 16,134<br>0.1   | 15,184<br>1.4   | 13,684<br>2.2   | 13,199<br>5.7   | 13,995<br>0.1   |
|         | 甲信越  | 34    | 13,685<br>△ 1.3 | 12,501<br>2.3   | 11,623<br>0.9   | 10,749<br>△ 2.4 | 11,777<br>0.8   |
|         | 北陸   | 11    | 14,433<br>△ 0.3 | 14,813<br>0.4   | 14,610<br>△ 8.8 | 14,772<br>△ 0.3 | 16,651<br>1.7   |
|         | 東海   | 32    | 14,957<br>0.9   | 16,139<br>0.4   | 15,066<br>△ 1.2 | 15,555<br>0.5   | 16,703<br>0.9   |
|         | 近畿   | 27    | 15,293<br>△ 1.9 | 16,791<br>△ 1.0 | 15,757<br>△ 1.7 | 14,602<br>1.7   | 14,402<br>0.2   |
|         | 中国   | 10    | 12,104<br>0.8   | 14,657<br>△ 1.0 | 13,095<br>△ 5.5 | 10,812<br>△ 0.4 | 14,521<br>0.7   |
|         | 四国   | 7     | 13,473<br>△ 1.0 | 13,049<br>△ 2.0 | 13,965<br>△ 0.1 | 14,142<br>△ 5.1 | 16,525<br>△ 4.0 |
|         | 九州   | 19    | 13,599<br>△ 0.8 | 13,712<br>△ 0.8 | 14,219<br>△ 2.4 | 12,855<br>△ 2.5 | 13,308<br>△ 0.1 |
| * 施設規模別 | 大規模  | 25    | 12,104<br>△ 0.1 | 11,263<br>1.5   | 10,810<br>△ 0.0 | 10,382<br>4.5   | 11,065<br>0.9   |
|         | 中大規模 | 70    | 12,479<br>△ 0.4 | 12,019<br>△ 0.0 | 12,005<br>△ 2.5 | 11,932<br>2.5   | 13,052<br>0.1   |
|         | 中規模  | 57    | 12,520<br>△ 0.7 | 13,721<br>△ 0.6 | 12,455<br>△ 2.3 | 12,351<br>△ 0.9 | 13,206<br>0.9   |
|         | 小規模  | 65    | 16,083<br>0.1   | 16,320<br>1.3   | 15,925<br>△ 0.6 | 15,395<br>△ 0.9 | 15,811<br>0.2   |

\* 施設規模: 大規模…客室数150室以上、中大規模…70～149室、中規模…40～69室、小規模…39室以下

\* サンプル数は2006年7-9月期調査のもの。

※本調査では当期および前年同期の実績を尋ねており、「前年同期比増減率」は当期調査で得られたサンプルの回答をもとに算出している。

ホテルの客室稼働率の推移

上段:稼働率(%)

下段:前年同期比増加率※(%)

|        |     | サンプル数 | 2005年         |               | 2006年         |               |               |
|--------|-----|-------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
|        |     |       | 7-9月期         | 10-12月期       | 1-3月期         | 4-6月期         | 7-9月期         |
| 全体平均   |     | 332   | 74.7<br>2.1   | 71.8<br>1.6   | 67.9<br>1.1   | 68.0<br>0.7   | 76.6<br>0.4   |
| 地域別    | 北海道 | 31    | 81.2<br>△ 1.2 | 69.2<br>0.5   | 68.8<br>△ 2.3 | 67.4<br>△ 2.4 | 86.1<br>0.7   |
|        | 東北  | 30    | 69.9<br>2.8   | 64.1<br>1.8   | 55.3<br>1.4   | 64.8<br>2.9   | 73.2<br>2.2   |
|        | 関東  | 84    | 78.4<br>0.4   | 79.4<br>1.1   | 78.0<br>1.4   | 77.6<br>2.2   | 80.9<br>0.4   |
|        | 甲信越 | 19    | 69.6<br>△ 1.3 | 57.8<br>△ 0.5 | 53.6<br>4.0   | 54.7<br>0.9   | 71.8<br>1.4   |
|        | 北陸  | 10    | 68.9<br>7.0   | 65.9<br>△ 2.2 | 61.0<br>2.2   | 67.3<br>3.6   | 72.9<br>1.5   |
|        | 東海  | 32    | 78.6<br>10.8  | 67.4<br>1.0   | 63.6<br>△ 2.7 | 74.2<br>△ 8.4 | 75.3<br>△ 8.2 |
|        | 近畿  | 63    | 77.2<br>3.0   | 78.5<br>2.0   | 70.0<br>0.9   | 77.5<br>1.2   | 80.8<br>2.2   |
|        | 中国  | 22    | 69.8<br>△ 0.8 | 69.2<br>5.7   | 62.0<br>1.9   | 61.5<br>△ 0.7 | 62.0<br>1.3   |
|        | 四国  | 12    | 65.0<br>0.3   | 64.6<br>3.3   | 64.2<br>4.3   | 66.3<br>1.5   | 67.9<br>0.8   |
|        | 九州  | 29    | 65.4<br>3.9   | 66.7<br>0.1   | 66.0<br>3.9   | 66.9<br>6.3   | 68.9<br>△ 2.9 |
|        | 沖縄  | 14    | 79.1<br>△ 3.2 | 68.9<br>5.2   | 76.3<br>1.4   | 75.4<br>12.7  | 77.2<br>△ 4.3 |
| *施設規模別 | 大規模 | 116   | 79.8<br>3.3   | 77.3<br>2.1   | 74.0<br>1.0   | 75.4<br>2.5   | 80.3<br>△ 0.0 |
|        | 中規模 | 131   | 75.5<br>1.0   | 73.3<br>1.6   | 68.8<br>0.7   | 72.4<br>0.8   | 77.1<br>0.9   |
|        | 小規模 | 98    | 68.4<br>2.0   | 64.9<br>1.3   | 59.8<br>1.9   | 64.7<br>△ 0.5 | 71.4<br>△ 0.6 |

\*施設規模：大規模…客室数201室以上、中規模…101～200室、小規模…100室以下

\*斜字体はサンプル数が10軒に満たないもの。

\*サンプル数は2006年7-9月期調査のもの。

※本調査では当期および前年同期の実績を尋ねており、「前年同期比増加率」は当期調査で得られたサンプルの回答をもとに算出している。

## ホテルのルームチャージの推移

上段:単価(円)

下段:前年同期比増減率※(%)

|        |     | サンプル数 | 2005年           |                 | 2006年           |                 |                |
|--------|-----|-------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|----------------|
|        |     |       | 7-9月期           | 10-12月期         | 1-3月期           | 4-6月期           | 7-9月期          |
| 全体平均   |     | 260   | 9,170<br>△ 0.1  | 8,727<br>△ 0.4  | 8,570<br>△ 1.5  | 8,908<br>△ 0.8  | 9,085<br>0.6   |
| 地域別    | 北海道 | 19    | 7,883<br>△ 0.3  | 5,944<br>△ 2.0  | 6,670<br>△ 0.9  | 5,978<br>2.8    | 8,226<br>3.6   |
|        | 東北  | 23    | 7,551<br>△ 2.6  | 7,065<br>△ 0.8  | 6,821<br>△ 1.5  | 7,960<br>△ 2.7  | 7,589<br>△ 1.4 |
|        | 関東  | 73    | 11,449<br>△ 1.5 | 11,070<br>△ 0.4 | 11,083<br>△ 0.8 | 11,014<br>△ 0.1 | 11,157<br>1.8  |
|        | 甲信越 | 12    | 13,876<br>△ 0.2 | 8,878<br>△ 1.0  | 8,787<br>△ 4.5  | 14,033<br>0.7   | 14,690<br>1.5  |
|        | 北陸  | 8     | 7,090<br>△ 1.9  | 6,917<br>△ 4.1  | 7,116<br>△ 2.7  | 6,802<br>0.9    | 7,338<br>0.9   |
|        | 東海  | 25    | 8,882<br>8.4    | 8,104<br>△ 0.2  | 8,117<br>△ 1.4  | 7,426<br>△ 5.3  | 7,456<br>△ 8.6 |
|        | 近畿  | 49    | 8,978<br>0.2    | 9,036<br>△ 0.2  | 8,548<br>△ 1.5  | 9,179<br>△ 0.2  | 9,153<br>2.0   |
|        | 中国  | 18    | 7,307<br>△ 1.6  | 7,301<br>2.1    | 6,738<br>△ 1.4  | 7,144<br>△ 1.3  | 6,472<br>△ 2.0 |
|        | 四国  | 10    | 7,295<br>△ 2.4  | 6,573<br>△ 1.5  | 7,075<br>△ 4.1  | 7,500<br>3.6    | 6,494<br>2.9   |
|        | 九州  | 20    | 7,508<br>△ 0.3  | 7,825<br>△ 0.4  | 6,940<br>△ 1.0  | 8,183<br>△ 2.9  | 6,877<br>0.6   |
|        | 沖縄  | 3     | 10,896<br>1.1   | 13,368<br>2.3   | 19,656<br>0.8   | 12,701<br>△ 1.6 | 13,539<br>5.6  |
| *施設規模別 | 大規模 | 88    | 10,760<br>0.6   | 10,834<br>△ 0.2 | 10,258<br>△ 1.8 | 10,396<br>△ 0.3 | 11,036<br>2.1  |
|        | 中規模 | 99    | 7,927<br>0.2    | 7,430<br>△ 0.2  | 7,330<br>△ 1.2  | 7,651<br>△ 1.6  | 7,654<br>△ 0.2 |
|        | 小規模 | 73    | 8,758<br>△ 1.3  | 7,872<br>△ 1.0  | 8,086<br>△ 2.0  | 9,012<br>0.3    | 8,851<br>△ 0.3 |

\*施設規模：大規模…客室数201室以上、中規模…101～200室、小規模…100室以下

\*斜字体はサンプル数が10軒に満たないもの。

\*サンプル数は2006年7-9月期調査のもの。

※本調査では当期および前年同期の実績を尋ねており、「前年同期比増減率」は当期調査で得られたサンプルの回答をもとに算出している。



ペンション・民宿、公的宿泊施設の推移

上段：稼働率(%)、1泊2食単価(円)

下段：前年同期比増減率※(%)

|               |        | サンプル数 | 2005年 |         | 2006年  |       |       |
|---------------|--------|-------|-------|---------|--------|-------|-------|
|               |        |       | 7-9月期 | 10-12月期 | 1-3月期  | 4-6月期 | 7-9月期 |
| 稼働率           | ペンション・ | 18    | 44.2  | 28.7    | 35.5   | 36.6  | 46.8  |
|               | 民宿     |       | △ 0.1 | 15.4    | △ 11.6 | △ 6.5 | △ 5.1 |
|               | 公的宿泊   | 31    | 62.4  | 56.0    | 51.2   | 57.0  | 63.0  |
|               | 施設     |       | △ 2.2 | △ 0.4   | △ 3.9  | △ 0.2 | △ 0.8 |
| 1泊2食単価<br>(円) | ペンション・ | 13    | 8,408 | 8,797   | 8,072  | 9,690 | 8,203 |
|               | 民宿     |       | △ 0.2 | △ 2.8   | 0.1    | 5.3   | 0.6   |
|               | 公的宿泊   | 26    | 8,823 | 9,251   | 8,900  | 8,669 | 9,425 |
|               | 施設     |       | 0.3   | 1.3     | 0.8    | 1.4   | 1.4   |

\* サンプル数は2006年7-9月期調査のもの。

※本調査では当期および前年同期の実績を尋ねており、「前年同期比増減率」は当期調査で得られたサンプルの回答をもとに算出している。

(安達寛朗)

**JTBF観光経済レポート 付属統計表**

2006年12月1日現在

| 項目名            |                |                |              | 暦年      | 2003年   | 2004年    | 2005年   | 2005年   |         | 2006年   |         |                                                                                        | データ出所および注記                                                         |                                                        |
|----------------|----------------|----------------|--------------|---------|---------|----------|---------|---------|---------|---------|---------|----------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|
|                |                |                |              |         |         |          |         | 7-9月期   | 10-12月期 | 1-3月期   | 4-6月期   | 7-9月期                                                                                  |                                                                    |                                                        |
| 国内旅行           | 発地             | 宿泊旅行者数（15～79歳） | (万人回)        | 21,841  | 21,148  | r 20,706 | 6,130   | 5,775   | 4,030   | p 4,314 | p 6,082 | (財)日本交通公社「JTBF旅行量調査」<br>注) 本数値は暫定値であり、最新の調査結果の反映、および推計手法の改良により随時改訂される。<br>pは速報値、rは改訂値。 |                                                                    |                                                        |
|                |                |                | (前年同期比)      | -       | △ 3.2   | r △ 2.1  | △ 2.7   | 2.8     | △ 4.7   | p △ 5.7 | p △ 0.8 |                                                                                        |                                                                    |                                                        |
|                |                | 宿泊旅行単価（15～79歳） | (千円／人回)      | 38.5    | r 38.5  | p 38.5   | 38.5    | 40.5    | 37.8    | p 36.3  | p 37.3  |                                                                                        |                                                                    |                                                        |
|                |                |                | (前年同期比)      | -       | r △ 0.0 | p △ 0.1  | 0.8     | 4.7     | 7.4     | p △ 6.4 | p △ 3.1 |                                                                                        |                                                                    |                                                        |
|                | 国内旅行           | 入込総数           |              | (前年同期比) | 1.0     | 0.7      | 2.7     | 0.3     | 3.1     | 2.4     | △ 0.8   | 1.0                                                                                    | (財)日本交通公社「JTBF観光地動向調査」                                             |                                                        |
|                |                | 観光施設利用者数       |              | (Df値：％) | △ 19.7  | △ 18.7   | △ 17.8  | △ 15.5  | △ 8.0   | △ 8.6   | △ 10.1  | △ 7.9                                                                                  |                                                                    |                                                        |
|                |                | 旅館             | 定員稼働率        | (％)     | 40.5    | 39.6     | 39.8    | 44.1    | 41.2    | 36.1    | 36.7    | 42.2                                                                                   | (財)日本交通公社「JTBF宿泊客動向調査」<br>注) 前年同期比の増加率は、各期の最新調査で得られたサンプルの回答をもとに算出。 |                                                        |
|                |                |                |              | (前年同期比) | 1.3     | △ 6.9    | △ 1.8   | △ 1.0   | 1.7     | △ 0.9   | △ 0.3   | △ 0.7                                                                                  |                                                                    |                                                        |
|                |                |                | 客室稼働率        | (％)     | 57.5    | 57.0     | 57.3    | 61.9    | 59.3    | 52.3    | 55.2    | 62.6                                                                                   |                                                                    |                                                        |
|                |                |                |              | (前年同期比) | 0.2     | △ 2.4    | △ 0.5   | 0.2     | 2.7     | △ 1.3   | △ 0.2   | 0.1                                                                                    |                                                                    |                                                        |
|                |                |                | 一泊二食単価       | (千円)    | 13.2    | 13.6     | 13.9    | 13.8    | 13.9    | 13.4    | 12.9    | 13.6                                                                                   |                                                                    |                                                        |
|                |                |                |              | (前年同期比) | 7.0     | △ 0.6    | △ 0.2   | △ 0.3   | 0.4     | △ 1.3   | 0.8     | 0.4                                                                                    |                                                                    |                                                        |
|                |                | ホテル            | 定員稼働率        | (％)     | 60.3    | 60.6     | 62.7    | 66.5    | 62.1    | 55.9    | 57.9    | 66.4                                                                                   |                                                                    |                                                        |
|                |                |                |              | (前年同期比) | 3.6     | △ 0.9    | 2.1     | 2.7     | 1.2     | △ 3.1   | 0.1     | △ 0.7                                                                                  |                                                                    |                                                        |
|                |                |                | 客室稼働率        | (％)     | 69.1    | 69.9     | 71.3    | 74.7    | 71.8    | 67.9    | 68.0    | 76.6                                                                                   |                                                                    |                                                        |
|                |                |                |              | (前年同期比) | 0.0     | △ 0.3    | 1.9     | 2.1     | 1.6     | 1.1     | 0.7     | 0.4                                                                                    |                                                                    |                                                        |
|                |                |                | ルームチャージ      | (千円)    | 9.2     | 8.7      | 8.9     | 9.2     | 8.7     | 8.6     | 8.9     | 9.1                                                                                    |                                                                    |                                                        |
|                |                |                |              | (前年同期比) | △ 2.8   | △ 1.8    | △ 0.6   | △ 0.1   | △ 0.4   | △ 1.5   | △ 0.8   | 0.6                                                                                    |                                                                    |                                                        |
|                |                | 運輸             | 航空旅客数(国内線合計) |         | (万人)    | 9,669    | 9,377   | 9,442   | 2,560   | 2,378   | 2,261   | 2,289                                                                                  | 2587*                                                              | 国土交通省「国土交通月例経済」<br>注) *9月分は主要9社の速報値による<br>**9月分を除いたデータ |
|                |                |                |              |         | (前年同期比) | 1.1      | △ 3.0   | 0.7     | 1.2     | 0.6     | 0.3     | 1.7                                                                                    | 1.0                                                                |                                                        |
|                | 鉄道             |                | JR定期外旅客数     | (万人)    | 328,554 | 329,883  | 322,682 | 84,559  | 84,067  | 81,598  | 82,965  | 58063**                                                                                |                                                                    |                                                        |
|                |                |                |              | (前年同期比) | 0.4     | 0.4      | 0.8     | 1.9     | 2.0     | 0.4     | 0.2     | -                                                                                      |                                                                    |                                                        |
|                |                |                | 新幹線旅客数       | (万人)    | 27,713  | 28,916   | 30,094  | 7,890   | 7,628   | 7,224   | 7,448   | 5594**                                                                                 |                                                                    |                                                        |
|                |                |                |              | (前年同期比) | 0.8     | 3.2      | 4.1     | 5.0     | 5.7     | 0.6     | 0.7     | -                                                                                      |                                                                    |                                                        |
| 高速度道路通行台数日平均   |                |                | (万台／日)       | 402     | 409     | 422      | 449     | 428     | 416     | 429     | 464     | (財)高速度道路調査会「高速度道路と自動車」<br>注) *9月分を除いたデータ                                               |                                                                    |                                                        |
|                |                |                | (前年同期比)      | 0.2     | 1.7     | 3.2      | 4.7     | 3.5     | 5.3     | 3.0     | 3.3     |                                                                                        |                                                                    |                                                        |
| 主要旅行業者50社国内取扱額 |                |                | (十億円)        | 3,301   | r 3,210 | 3,278    | 939     | 844     | 699     | 764     | 895     | 国土交通省総合政策局旅行振興課                                                                        |                                                                    |                                                        |
|                |                |                | (前年同期比)      | △ 0.8   | △ 2.8   | 2.1      | 3.2     | 2.1     | △ 1.3   | △ 1.3   | △ 0.9   |                                                                                        |                                                                    |                                                        |
| 海外旅行           | 日本人出国者数        |                | (万人)         | 1,330   | 1,683   | 1,740    | 469     | 440     | 432     | 409     | 477     | 法務省<br>(2006年6月分はJNTO推計値)                                                              |                                                                    |                                                        |
|                |                |                | (前年同期比)      | △ 19.5  | 26.6    | 3.4      | △ 1.9   | △ 1.3   | △ 1.0   | 3.7     | 1.7     |                                                                                        |                                                                    |                                                        |
|                | 主要旅行業者50社海外取扱額 |                | (十億円)        | 1,801   | 2,320   | 2,427    | 728     | 606     | 551     | 624     | 776     | 国土交通省総合政策局旅行振興課                                                                        |                                                                    |                                                        |
|                |                |                | (前年同期比)      | △ 19.7  | 28.8    | 4.6      | △ 0.0   | 1.5     | 3.9     | 7.5     | 6.0     |                                                                                        |                                                                    |                                                        |
| 訪日旅行           | 外国人旅行者数        |                | (万人)         | 521     | 614     | 673      | 183     | 164     | 171     | 182     | 193     | 国際観光振興機構(JNTO)                                                                         |                                                                    |                                                        |
|                |                |                | (前年同期比)      | △ 0.5   | 17.8    | 9.6      | 10.2    | 10.8    | 7.0     | 9.0     | 5.6     |                                                                                        |                                                                    |                                                        |
| 主要経済指標         | GDP（名目・原系列）    |                | (十億円)        | 490,544 | 496,050 | 504,606  | 123,195 | 133,178 | 123,525 | 126,955 | 125,490 | 内閣府経済社会総合研究所<br><br><br><br>東洋経済新報社                                                    |                                                                    |                                                        |
|                |                |                | (前年同期比)      | 0.2     | 1.1     | 1.7      | 1.4     | 2.1     | 2.4     | 1.2     | 1.9     |                                                                                        |                                                                    |                                                        |
|                | GDP（実質・原系列）    |                | (十億円)        | 512,817 | 524,622 | 524,407  | 134,702 | 140,608 | 135,395 | 135,077 | 138,517 |                                                                                        |                                                                    |                                                        |
|                |                |                | (前年同期比)      | 1.8     | 2.3     | 3.0      | 2.8     | 3.7     | 3.6     | 2.0     | 3.7     |                                                                                        |                                                                    |                                                        |
|                | 東京外為銀行間平均      |                | (円／ドル)       | 115.9   | 108.2   | 110.2    | 111.2   | 117.3   | 116.9   | 114.4   | 116.2   |                                                                                        |                                                                    |                                                        |
|                |                |                | (前年同期比)      | △ 7.5   | △ 6.6   | 1.8      | 1.2     | 10.8    | 11.9    | 6.3     | 4.5     |                                                                                        |                                                                    |                                                        |

## 出版物のご案内

当財団では、旅行・観光に関する各種出版物を発行しています。

### 旅行年報(年1回9月発刊)

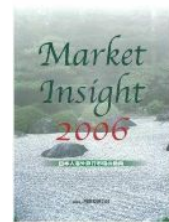


「旅行年報」は過去一年間の旅行・観光分野の動向とこれからの展望について、データとトピックスで解説。定期的な発行をはじめた1981年以来、今年で26年目を迎えます。

最新「旅行年報2006」では2005年4月から2006年上期に至る旅行市場の動きをデータを交えて解説します。

### Market Insight(日本語版)(英語版)(各年1回発刊)

日本人海外旅行マーケットの構造的な変化とその要員を詳細に解説したレポート。2005年の最新市場動向をカバー。財団法人日本交通公社の独自調査をもとに、変化の下に働く中・長期的ダイナミズムを明らかにしています。



### 観光文化(年6回奇数月発刊)



旅や観光の文化に関する多彩なテーマについて、各界の方が執筆。

※バックナンバーに関しては当財団HPをご覧ください。

### JTBF 観光経済レポート(年4回3, 6, 9, 12月発刊)

全国の消費者および観光業界を対象として四半期ごとに実施するアンケート調査結果を分析し、最新の旅行市場の局面を描き出します(サンプル数:消費者約1,300人、観光地・宿泊施設約1,000軒)。



### 自主研究レポート(年1回2月発刊)



当財団が自主事業(観光文化振興事業)の一環として重点的に取り組んでいる「自主研究」をまとめた調査研究成果。

### 旅行者動向～国内・海外旅行者の意識と行動(年1回7月下旬発刊)

最新の旅行の実態や旅行者の意識に関する全国アンケート調査結果を、当財団独自の切り口で分析、グラフや図表を多用してわかりやすく解説。

旅行・観光関連の政策立案や事業展開などに幅広く活用していただけるマーケティングデータ集です。



### 観光読本(第2版、発行: 東洋経済新報社、2004 年発刊)



観光全般について広く基本的な事項を網羅した概論と、当財団研究員による分析・提言をまとめた書籍。初めて観光分野に従事する自治体の担当者や旅行業界に従事されている方、観光を学ぶ学生の方々の入門書として最適。

### 美しき日本～いちどは訪れたい日本の観光資源

(日本語版 1999 年発刊、外国語版 2000 年発刊)

日本人および日本を訪れた外国の方々が、一度は訪れる価値のあるわが国の観光資源 391 か所を美しい写真と解説文で紹介する写真集。外国語版は、英語・中国語・韓国語を併記。



● 魅力ある自然ガイドツアーづくりの手引き (監修:国土交通省総合政策局 2005 年発刊) ●



自然ガイド(インタープリテーション)ツアーを地域で具体的にどのように進めていくのか、地域の実情に応じて解説。ツアー体験者の「生の声」も多数収録、参加者の満足度も重視した内容。

● 実践講座インタープリテーション (監修:国土交通省総合政策局観光部、2002 年発刊)

インタープリター(自然ガイド)実践者向けの参考書。楽しいツアー作りのためのプログラム開発方法やメッセージを伝えるテクニックを、豊富な実例とともに解説。



● 自然ガイドのためのおもしろヒントブック (監修:国土交通省総合政策局観光部、2002 年発刊) ●



自然ガイドツアー・プログラム作りのための素材集。自然の題材が発するメッセージを数多く収集。

● エコツーリズム さあ、はじめよう! (編集:環境省・JTBF、2004 年発刊)

エコツーリズムとは何か、推進の手順とその重要なカギとなるルールとガイドンスとは、そして地域資源の保全と持続的利用を可能とする資源管理のあり方などをまとめた、エコツーリズムを推進する方に向けた手引書。2003年に設置された「エコツーリズム推進会議」(議長:小池百合子環境大臣)での議論を環境省と当財団が編集。



書籍の詳しい内容は当財団ホームページ  
<http://www.jtb.or.jp> をご覧ください。  
こちらのページよりご購入いただけます。

■ お問い合わせ ■

財団法人日本交通公社 観光文化事業部

担当: 中野・久保田

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-8-2 第一鉄鋼ビル 9 階

TEL:03-5208-4704 (受付時間 平日 10:00~18:00)

FAX:03-5208-4707

e-mail:jtbfbbook@jtb.or.jp

**JTBF 観光経済レポート Vol.13**  
**(2006 年 7-9 月期)**

2006 年 12 月発行

頒布料：1, 050 円（本体価格 1, 000 円）

**発行：財団法人日本交通公社**  
**観光文化事業部**

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-8-2 第一鉄鋼ビル 9 階

TEL：03-5208-4704 FAX：03-5208-4707

E-mail：jtbfbbook@jtb.or.jp

ホームページ：http://www.jtb.or.jp

本書を許可なく複製することは固く禁じます。許諾については、当財団の観光文化事業部までご照会ください。

